



学び舎に別れ 最後の卒業式



3月16日、この春閉校を迎えた穂北中学校（校長 竹下英貴 78名）で最後の卒業式が行われ、卒業生たちが思い出の詰まった学び舎に別れを告げました。会場の体育館には季節の花が装飾され、未来へ歩む卒業生にエールを送るように咲き誇っていました。式には卒業生や保護者のほか地域住民も出席。これまで学校を支えてきた地域への感謝や、生徒たちが育んできた思い出が紹介され、会場は懐かしさと感謝の思いにあふれていました。

校長先生からは「新たなステージで存分に力を発揮し、自分色の道を力強く切り拓いてほしい。」と励ましのあいさつがあり、答辞として西田直矢さんから「素晴らしい出会いと学びをくれた穂北中学校、そしてこんなにも晴れやかな忘れない卒業式を挙行してくださった皆様、本当にありがとうございます。ありがとうございました。」と感謝の念が述べられました。



79年間にわたり地域の子どもたちを育ててきた穂北中学校。最後の卒業生を送り出した学び舎には、新たな旅立ちへのエールが響いていました。



ありがとう 穂北中学校



3月21日、穂北中学校閉校式が同校体育館で行われ、歴代卒業生、地域住民、教職員らが集い79年の歴史を刻んできた学校の歩みを振り返りました。

西都市長のあいさつの後、校旗返納が行われ、校長、教育長、そして西都市長へと学校生活を見守ってきた校旗が手渡されました。

校歌斉唱では参加者全員が声を合わせて歌い、懐かしさと感謝の思いを胸に歌い収め。寂しさ漂う空気も式典後のスペシャルステージでは、教職員、生徒の軽やかなダンスにより会場は一体感に包まれました。

同日夕方からは妻湯にて感謝の会も開催され、多くの人が学校の歴史と役割の大きさを改めて感じながら、今後、地域の中で受け継がれていくであろう絆を深め合っていました。

実行委員長（長谷川裕康氏）あいさつでは、第1回卒業生から聞いた開校当時の話や、自身が過ごした中学校生活を振り返りながら「穂北魂を受け継いで、穂北中の生徒であることに誇りをもって頑張ってください。」と生徒へエールが送られました。

同日夕方からは妻湯にて

感謝の会も開催され、多くの人が学校の歴史と役割の大きさを改めて感じながら、今後、地域の中で受け継がれていくであろう絆を深め合っていました。

同日夕方からは妻湯にて



故郷の思いをカタチに

12月25日から27日、穂北中学校2年生(当時)の有志生徒が、学び舎での思い出と故郷への感謝の気持ちを形に残そうと、小学校校門前の衣料品店のシャツターに地域の伝統芸能を描きました。

衣料のすずき店主の鈴木紀彦さんが同中学校へ依頼したことから実現。シャツターには穂北の伝統芸能「臼太鼓踊り」「穂北神楽」の躍動感あふれる姿が色鮮やかに描かれ、制作に参加した生徒たちは互いに声をかけあいながら丁寧に筆を進めました。

「この絵を見て、穂北のことを好きになってもらえたらうれしい」と日高柚樹さん。表情には、達成感と少しの寂しさがにじんでいるようでした。

完成したアートは、街の新たな彩りを添えるとともに、故郷の記憶と伝統を次世代へつなぐ象徴となることでしょう。



思い出のグラウンドで白球追う

12月13日、このたび閉校となった穂北中学校グラウンドで、同校野球部OBを中心とした卒業生有志が集まり、思い出の地で野球を楽しみました。

当日は世代を超えた卒業生が集結。かつて汗を流したグラウンドに立つと、当時の練習や試合の記憶がよみがえり、久しぶりの再会を喜ぶ笑顔でいっぱいでした。紅白戦では年齢を感じさせない好プレーも飛び出し、和やかな歓声に包まれていました。

参加者からは「このグラウンドで仲間と過ごした時間は一生の宝物」「閉校前に、もう一度みんなで野球ができてよかったです」といった声が聞かれました。

長年、穂北の子どもたちを見守ってきた穂北中学校。グラウンドには、世代を超えて受け継がれてきた思い出と絆がしっかりと刻まれました。



詐欺防止やゴミの分別を学ぶ

2月2日、穂北地区を対象にした講習会が穂北地区館で開かれ、市生活環境課職員による詐欺被害の防止やごみの正しい分別方法について学びました。

近年増加している電話やインターネットを利用した詐欺の手口やその対策について、「知らない番号からの電話には注意することや甘い誘い文句には警戒が必要。慌ててお金を振り込まないことが大切。」と説明を受けました。

また、ごみの分別の説明では「飲み物でない缶は金属類。飲み物の缶でもつぶしてしまつたら金属類。」など、分別のルールについて理解を深めました。

参加者（42名）は説明に耳を傾けながら、日頃疑問に感じていることについて質問するなど、熱心に学ぶ様子が見られ有意義な学びの場となりました。



地域と育む凧揚げ大会

1月9日、一ッ瀬川右岸堤防で穂北小学校凧揚げ大会が開催されました。

凧は昨年11月に子ども未来部会による「ものづくり体験活動」で制作されたオリジナル凧で、凧揚げ大会自体は70回目を迎える穂北の風物詩です。

好条件の風を受けて勢いよく空に舞い上がる凧に児童は大喜び。保護者の方々も糸の持ち方や走り方を教えながら一緒に楽しみました。

伝統的な遊びやものづくりを通して世代間交流を図った世界にひとつだけの凧は、個性豊かに未来へ飛ばたく児童たちの姿を映し出しているようでした。

澄んだ大空に伸びていく凧のように、児童たちも地域に見守られながら大きく成長していくことを感じさせる凧揚げ大会となりました。



穂北地区の少年団を応援します

少年団では、体力づくりはもちろん、あいさつや礼儀、仲間を思いやる心など、活動を通して人として大切なことを学びます。穂北地域はみんなで子どもたちの成長を支えていきます。

茶臼原バレーボールスポーツ少年団

活動場所：茶臼原小体育館
活動曜日：火 17時半～19時半
水 17時～19時半
土 8時～10時

登録者数：8名（4/1現在）
主な戦績：全国小学生バレーボール大会県予選出場(R7)

ひとこと：少数メンバーですが元気に頑張っています。



穂北野球スポーツ少年団

対象：小学1年生～6年生
活動場所：穂北小グラウンド
活動曜日：月、木、土

平日17時～19時
土曜13時～16時

登録者数：18名（4/1現在）

ひとこと：やる気のある子大歓迎。
一緒に野球をしてみませんか？

